

第3章 環境の保全・創造に向けた取組み

環境目標1 地球の未来を考え実践するまち

基本施策① 地球温暖化防止への貢献（山口市地球温暖化対策地域推進計画）

地球の大気中に含まれる二酸化炭素（ CO_2 ）やメタン（ CH_4 ）などの温室効果ガス濃度の上昇によって、地球全体の平均気温が上昇する現象が「地球温暖化」です。

このまま地球温暖化が進行すると、洪水や干ばつなどの自然災害の増加、海面上昇による国土の水没、砂漠化の進行などの様々な影響があると考えられます。

この「地球温暖化」を防止するため、市の特性や地域資源、社会状況を踏まえ、温室効果ガス削減の取組みを実施する「山口市地球温暖化対策地域推進計画」を策定し、本市における温室効果ガス排出量の削減目標を定めました。

また、目標値の設定については、市民や事業者に分かりやすいものとするため、本市で増加率の高い民生部門（業務・家庭）、運輸部門において、従業員1人あたり、1世帯あたり、自動車1台あたりという単位あたりの数値を用いました。

この削減目標を達成するため、市民、事業者、民間の団体との連携・協働による地球温暖化対策を推進しています。

★温室効果ガス排出量の削減目標

本市における平成29年（2017年）度の温室効果ガス排出量の削減目標は、次のとおりです。ただし、対象とする温室効果ガスは、全体の約98%を占める二酸化炭素のみとします。

【総量目標】

平成29年（2017年）度における二酸化炭素排出量を平成2年（1990年）度比で

2%以上削減することをめざします。

（＝平成16年（2004年）度比で25%以上削減）

【部門別目標】

【民生業務部門】

- 平成29年(2017年)度における従業員1人あたりの二酸化炭素排出量を平成16年(2004年)度比で**46%以上削減**することをめざします。
(= 平成2年(1990年)度比で29%以上削減)

【民生家庭部門】

- 平成29年(2017年)度における1世帯あたりの二酸化炭素排出量を平成16年(2004年)度比で**43%以上削減**することをめざします。
(= 平成2年(1990年)度比で28%以上削減)

【運輸部門】

- 平成29年(2017年)度における自動車1台あたりの二酸化炭素排出量を平成16年(2004年)度比で**30%以上削減**することをめざします。
(= 平成2年(1990年)度比で31%以上削減)

山口市役所においては、国際規格であるISO14001の認証を平成20年度に取得し、環境マネジメントシステムの運用及び「山口市地球温暖化防止行動計画」により、エネルギー使用量の削減に取り組んでいるところです。市の施設において、平成23年度比で6%以上削減することを最終目標とし、平成25年度では、平成23年度比で3.51%の削減を達成したところです。

◆進行管理指標

指標	単位	現 状 (計画策定時)		平成24年度 実績値		平成25年度 実績値		評価	目 標			
		年度	数値	年度	数値	年度	数値		中間年度		最終年度	
									年度	数値	年度	数値
市域から排出される二酸化炭素排出量	千t-CO ₂	H16	1,909.6	H22	1,882.8	H23	1,714.0	↑	H24	1,690.7	H29	1,501.8
★1世帯のマイカーに係る二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	H18	1,866.5	H24	1,906.1	H25	2,004.1	↓	H24	1,461.7	H29	1,194.0
温暖化防止を意識して生活している市民の割合	%	H19	64.8	H24	73.8	H25	75.4	↑	H24	67.4	H29	70.0
★ISO14001、エコアクション21、グリーン経営認証などを取得している事業所数(累計)	件	H19	32	H24	66	H25	98	↑	H24	43	H29	56
★住宅用太陽光発電システム設置件数(累計)	件	H19	1,047	H24	331 (2,704)	H25	471 (3,175)	↑	H24	1,400	H29	2,000
コミュニティ交通の年間延べ利用者数(コミュニティバス)	人	H19	166,625	H24	146,343	H25	140,726	↓	H24	173,000	H29	180,000
エコドライブ講習会の受講者数(累計)	人	H19	—	H24	26(204)	H25	21(225)	↓	H24	180	H29	405
人工林の間伐面積	ha	H19	438.53	H24	1,191.93	H25	596.67	↓	H24	1,226.94	H29	1,226.94

【評価（数値目標の達成状況等）】

「市域から排出される二酸化炭素排出量」については昨年度と比較すると減少していますが、「1世帯のマイカーに係る二酸化炭素排出量」については増加しています。また、「エコドライブ講習会受講者数（累計）」についても、年度別受講者数では昨年度と比較すると減少しています。今後、様々な情報媒体を活用し、地球温暖化防止への取組みの更なる啓発を図ります。

「温暖化防止を意識して生活している市民の割合」については、引き続き最終年度の数値目標を上回る、高い水準を維持しています。今後も引き続き、山口市地球温暖化対策地域協議会（温暖化とめるっちゃネットワークやまぐち）との連携、協働のもと、温暖化防止に資する有効な手法を検討するとともに、環境に関する講演会や出前講座を通じた意識啓発を図ることで、更なる成果の向上を目指します。

「住宅用太陽光発電システム設置件数（累計）」については、引き続き件数を伸ばし、最終年度の数値目標を上回っていて、一定の効果を挙げています。

また、その他の指標につきましても、最終年度の目標達成に向け、各施策や事業の更なる取組みに努めます。

【主な取組状況（平成25年度）】

主要施策	(1) 共通的施策
具体的な施策・事業（担当課）	
ア 山口市地球温暖化対策地域協議会との連携・協働（環境政策課）	
<p>『温暖化 とめるっちゃネットワーク やまぐち』</p> <p>平成20年8月18日に、地球温暖化防止に向け、日常生活での温室効果ガス排出の抑制策などを協議し、活動することを目標に「地球温暖化対策の推進に関する法律」第26条第1項の規定に基づいて、市民・事業者・学術研究機関・民間団体・行政が構成員となり、設立されたものです。</p>	
1 温室効果ガスの効果的削減の推進	
(1) 環境家計簿の普及促進 重点プロジェクト	
①協議会との協働で作成した、環境家計簿「我が家の環境カレンダー」リーフレット版・エクセル版の普及啓発（イベントでの配布、市報・ホームページによる広報活動）	
②環境カレンダーを市内のエコリーダースクールをはじめ、各小学校へ配付	

(2) 緑のカーテンの普及啓発

●市民向け設置講習会の実施

4月13日／リサイクルプラザ 【参加者数】19名

4月23日／小郡地域交流センター 【参加者数】12名

●市民向け「緑のカーテンチャレンジャー」へ苗の配付

ゴーヤ137人 自然薯68人

●第4回緑のカーテンコンテスト開催および審査会実施。

平成25年7月1日～8月30日

【申込数】 家庭部門：26件 事業所部門：11件 学校部門：13件 合計50件

【審査会】幹事会で実施（9月11日／大殿地域交流センター）

最優秀賞 各部門1件、**優秀賞** 各部門2件、

特別賞 家庭部門2件、事業所部門3件、学校部門3件

(3) ノーマイカーの促進

県内・市内ノーマイカーデーへの協力（県内10月18日、市内2月21日）

山口市公共交通ふれあいフェスタへ参加（2月15日）

(4) 省エネ電球等の普及促進対策 **H25主要施策**

山口市LED照明普及促進キャンペーンの実施（LED電球交付実績333件）

(6) 新たな取組みに向けての調査研究

先進事例視察研修（平成26年2月17日）

【訪問先】 ジオ・パワーシステム株式会社山口小鯖体験館（下小鯖）＜地中熱＞
次世代エネルギーパーク（北九州市若松区）＜太陽光発電等＞
あさの汐風公園（北九州市小倉北区）＜風力発電＞

【参加人数】 23名

2 地球温暖化対策の普及啓発の推進

(1) 家庭における地球温暖化防止活動診断の実施

地球温暖化防止活動診断を受診（調査研究部会員）

(2) 省エネ住宅等の普及啓発

山口県地球温暖化防止活動センターとの連携により、啓発用パンフレットを配布

(3) イベント出展による普及啓発

①青空天国いこいの広場（5月5日／維新公園）

内容：ソーラーカー製作体験教室、エアロバイク発電、手回し発電

②第14回やまぐちエコパークまつり（10月13日リサイクルプラザ周辺）

内容：ソーラーカー製作体験教室、環境クイズラリー、緑のカーテン応募作品展示

③平成25年度おごおり文化祭（11月3日／小郡地域交流センター周辺）

内容：ソーラーカー製作体験教室、環境クイズラリー

④山口市公共交通ふれあいフェスタ（2月15日／山口市中央公園）

内容：環境クイズラリー、ポータブル太陽光パネルによる発電・展示、
電動バイクの展示、エアロバイク発電、手回し発電、
電気自動車（リーフ、ミニキャブ）の展示

(4) 広報活動の充実

- 環境川柳コンテストの開催（募集期間 11月15日～12月20日）

環境川柳の募集を行い、ホームページで優秀作品を公表しました。

【申込数】21名、50作品

【審査会】幹事会で実施（1月20日／湯田地域交流センター）

最優秀賞 1点 / 優秀賞 2点 / 特別賞 4点

3 地球温暖化対策に関する学習・教育活動の推進

(1) 子どもを対象とした環境学習イベントの開催

- ①青空天国いこいの広場（5月5日／維新公園）
- ②やまぐちエコパークまつり（10月13日／リサイクルプラザ周辺）
- ③おごおり文化祭（11月3日／小郡地域交流センター周辺）
- ④公共交通ふれあいフェスタ（2月15日／山口市中央公園）

(2) 環境学習の効果的な推進方策の実施及び検討

環境学習出前講座の実施

各種団体からの申し込みにより、環境学習出前講座を実施しました。

【実施状況】28講座実施、893名参加

実施日	講座名	申込団体	人数
6月22日	かまぼこ板の廃材で秘密基地を作ろう！	山口児童館	53
7月17日	牛乳パックではがきづくり	井関小学校	27
7月24日	自然とふれあう ネイチャーゲーム体験	おひさまクラブ1	18
7月29日	廃材積み木で高いタワーやドミノ倒しを作ろう	わかかさ学級	80
7月29日	廃材積み木で高いタワーやドミノ倒しを作ろう	まなび学級	35
7月31日	エコクラフト親方工房	二島地域交流センター	14
7月31日	自然とふれあう ネイチャーゲーム体験	おひさまクラブ2	17
8月2日	住まいの夢工場見学	なかよし学級	54
8月5日	「電気」や「水」を大切にしよう	なかよし学級教室	25
8月5日	住まいの夢工場見学	わくわく学級	20
8月6日	エコクラフト親方工房	なかよし学級	41
8月7日	地球温暖化ってなに？	井関にこにこクラブ	28
8月7日	牛乳パックで帽子づくり	しらすぎ学級	27
8月7日	竹笛（楽器カズー）づくり	しらすぎ第2学級	29
8月9日	レジ袋を利用して竹笛づくり	はちのこ学級	25
8月12日	牛乳パックで帽子づくり	ひまわり学級	30
8月12日	巨大エコ・スゴロクで環境学習	うえき学級	35
8月16日	かまぼこ板の廃材で秘密基地を作ろう！	もみじ学級	20

8月16日	牛乳パックで帽子づくり	もみじ第二学級	20
8月19日	かまぼこ板の廃材で秘密基地を作ろう！	うえき第2学級	45
8月19日	エコかるた 楽しみながら 環境学習	なかよし学級教室	25
8月20日	食品トレーでリメイク工作	みなみ第二学級	35
8月20日	住まいの夢工場見学	二島地域交流センター	29
8月23日	エコかるた 楽しみながら 環境学習	みなみ第二学級	40
8月29日	エコラベルでビンゴ 他	みなみ第二学級	40
3月27日	エコクラフト親方工房	たんぽぽ学級	41
3月28日	竹笛（楽器カズー）づくり	小郡地域交流センター	20
3月28日	エコラベルでビンゴ	小郡地域交流センター	20

環境学習自主講座の開催

エコクラフト教室（8月2日／大殿地域交流センター） 【参加人数】9名
 エコクッキング教室（8月9日／山口合同ガスひまわり館） 【参加人数】16名

講演会、セミナーの開催

＜公開講座＞【テーマ】再生可能エネルギーについて
 【講師】山口大学大学院技術経営研究科 副研究科長・教授 福代和宏 氏
 【日時】平成26年3月12日 18:30～19:30
 【場所】サンフレッシュ山口
 【参加者数】26人

4 その他

(1) 市、県等が行う活動への参加・協力

- ①家庭や職場における緑のカーテンの設置（5～8月）
- ②県内・市内ノーマイカーデーへの協力（県内10月18日、市内2月21日）
- ③市・JAF共催のエコドライブ講習会への参加（6／30小郡自校、11／18綜合自校）
- ④県内一斉ライトダウンキャンペーンへの参加・協力
- ⑤市LED照明普及促進キャンペーンへの協力（LED電球交付実績333件）

(2) 会員の拡大

個人会員、団体会員の加入を促進するため、イベント参加時等に広報を行いました。
 平成26年4月19日時点 団体会員 18団体 個人会員 59名
 平成24年4月1日時点 団体会員 19団体 個人会員 52名

イ 地球温暖化防止キャンペーンの周知・徹底（環境政策課）

地球温暖化対策などの環境問題とエネルギーに関する講演会を開催しました。

＜講演会＞【テーマ】21世紀の環境とエネルギーを考える！！
 【講師】一橋大学大学院商学研究科教授 橘川武郎 氏
 【日時】平成26年2月1日 13:30～15:00
 【場所】小郡ふれあいセンター
 【参加者数】43人

ウ 環境マネジメントシステムの普及促進（環境政策課） **重点プロジェクト**
 《ISO14001、エコアクション21、グリーン経営認証取得事業所数（累計）》

項目 \ 年度	H23	H24	H25
ISO14001	48	48	79
エコアクション21	5	6	8
グリーン経営認証	11	12	11
合計	64	66	98

※ISO14001はJAB日本適合性認定協会、エコアクション21はエコアクション21中央事務局、グリーン経営認証は国土交通省中国運輸局ホームページから取得。

エ 市役所の率先行動（環境政策課）

市では、温室効果ガス排出量の削減のため、市の施設等を対象として「山口市地球温暖化防止行動計画」により、平成29年度末までに、平成23年度比で6%以上削減することを最終目標として取り組み、平成25年度については、平成23年度比で2%の削減目標に対して、3.51%削減し、当初の目標を達成することができました。

下表は、平成23年度と平成25年度のエネルギー使用量を比較したものです。

【表1】エネルギー使用量と温室効果ガス排出量

	単位	平成23年度公表値		平成25年度		CO2排出量増減 対23年度比較	増減率(%) 対23年度比較
		使用量	排出量(kg-CO ₂)	使用量	排出量(kg-CO ₂)		
二酸化炭素排出量			31,722,250.30		30,609,908.31	▲1,112,341.99	-3.51%
電気の使用に伴うCO2排出量	kWh	47,048,890.00	26,112,133.95	45,442,273.22	25,220,461.64	▲891,672.31	-3.41%
燃料使用に伴うCO2排出量			5,610,116.35		5,389,446.68	▲220,669.67	-3.93%
ガソリン(公用車以外)	ℓ	27,648.00	64,189.26	21,731.30	50,452.69	▲13,736.57	-21.40%
ガソリン(公用車)		240,646.27	558,698.82	283,294.52	657,713.56	99,014.74	17.72%
軽油(公用車以外)	ℓ	30,219.00	79,151.03	29,496.79	77,259.37	▲1,891.66	-2.39%
軽油(公用車)		246,308.97	645,144.02	215,936.77	565,591.67	▲79,552.36	-12.33%
灯油	ℓ	742,053.00	1,847,328.33	656,559.70	1,634,494.43	▲212,833.90	-11.52%
A重油	ℓ	298,235.30	808,107.32	258,882.90	701,476.87	▲106,630.44	-13.20%
液化石油ガス(LPG)	m ³	86,104.00	514,375.91	88,022.35	525,835.93	11,460.02	2.23%
液化天然ガス(LNG)	m ³	476,541.00	1,093,121.67	512,942.70	1,176,622.16	83,500.49	7.64%
メタンの排出に伴うCO ₂ 換算量			1,098.00		1,044.80	▲53.20	-4.85%
一酸化二窒素の排出に伴うCO ₂ 換算量			29,129.00		27,505.76	▲1,623.24	-5.57%
計			31,752,477.30		30,638,458.88	▲1,114,018.42	-3.51%

※エネルギー使用量CO₂排出量(キログラム)に換算

※メタン、一酸化二窒素は、車両の走行距離から算出

【表2】その他の取組結果

	単位	基準値① 平成23年度	目標値 平成25年度	実績値 平成25年度	増減率	達成状況
水道使用量	m ³	420,984	①から削減	430,067	4.2%	×
コピー用紙購入量	枚	15,149,000	①から5%以上削減	16,133,000	6.5%	×
可燃ごみ排出量	kg	18,151	①から5%以上削減	17,109	-5.7%	○
印刷発注物の再生紙使用率	%	89.6	平成23年度実績(89.6%)を向上	95.4%	-	○
事務用品のグリーン購入率	%	98.2	平成23年度実績(98.2%)を維持	98.5%	-	○
低公害車の購入率	%	100	100%	100	-	○

主要施策

(2) 環境に配慮した事業活動の推進

(事業活動における温室効果ガスの排出抑制)

具体的な施策・事業 (担当課)

オ 環境マネジメントシステムの運用 (環境政策課)

平成20年11月に「ISO14001」を認証取得しました。
平成23年度に有効期間(3年)が経過したことから、引き続き認証を継続するため、外部審査登録機関の更新審査及び阿東総合支所を適用範囲に含める拡大審査を受け合格したことで、認証の継続とともに、審査に係る適用範囲の拡大を行いました。

平成25年度は、定期審査を受け、システムの運用が着実に継続されていることを確認しました。

今後も引き続き、市役所の全事務事業に係る環境への負荷を低減するため、システムの継続的な改善を図りながら運用(PDCA)に努めるとともに、ホームページや市報を通じて、環境配慮の取組みを市民や事業者の皆様にも情報提供し、住みよいまちづくり、環境づくりに努めます。

《平成25年度の取組結果について (ISO適用範囲内)》

山口市環境マネジメントシステムにおいては、所属独自の環境目的・環境目標・実施計画を93件、共通の環境目的・環境目標・実施計画を11件設定しました。



項目 (環境側面)	平成25年度環境目標	平成25年度取組結果	達成状況
イベント開催時の環境配慮	環境配慮項目実施率 94%	環境配慮項目実施率 100%	○
公共工事における環境配慮	環境配慮項目実施率 97%	環境配慮項目実施率 99.8%	○
温室効果ガス排出量削減	平成23年度比 2.0%以上削減	平成23年度比 11.7%削減	○
電気の使用量削減	平成23年度比 3.0%以上削減	平成23年度比 13.1%削減	○
燃料(ガソリン、軽油、灯油、A重油、LPG、LNG)の使用量削減	平成23年度比 1.0%以上削減	平成23年度比 ガソリン 7.6%減 灯油 3.1%増 軽油 3.9%増 A重油 100%減 LPG 34.8%減 LNG 4.6%減	○
水の使用量削減	平成23年度ベースから削減	平成23年度比 3.3%減	○
コピー用紙の使用量削減	平成23年度比 1.0%以上削減	平成23年度比 6.5%増	×
可燃ごみの排出量削減	平成23年度比 1.0%以上削減	平成23年度比 1.8%減	○
印刷物発注時の再生紙使用	再生紙使用率93.7%(24年度実績)	再生紙使用率 94.8%	○
グリーン購入	グリーン購入率97.9%(24年度実績)	グリーン購入率 98.2%	○
低公害車の導入	低公害車導入率 100%	低公害車導入率 100%	○

カ 公共施設における新エネルギーの導入 **重点プロジェクト**

【平成25年度の導入実績】

- ・太陽光発電システム導入件数：2件
(大内中学校、潟上中学校)

《太陽光発電等を導入している公共施設一覧》

平成26年3月31日 現在

種別	施設名	導入内容	種別	施設名	導入内容	
太陽光発電	仁保地域交流センター	10kW	太陽光発電	宮野三ノ宮公園 (外灯)	43W×1灯	
	嘉川地域交流センター	10kW		高田公園 (外灯)	23W×2灯	
	大内小学校 (屋内運動場)	10kW		大江公園 (外灯)	43W×1灯	
	井関小学校 (校舎)	10kW、126W×2基		富田原公園 (外灯)	43W×1灯	
	佐山小学校 (校舎)	10kW		草山公園 (外灯)	43W×1灯	
	白石中学校 (校舎)	10kW		上恋路公園 (外灯)	43W×2灯	
	小郡中学校 (校舎)	10kW×2基		御堀公園 (外灯)	23W×1灯	
	大殿中学校	10kW		寺内公園 (外灯)	23W×1灯	
	阿知須中学校	10kW		今市公園 (外灯)	23W×1灯	
	湯田中学校	10kW		高砂公園 (外灯)	23W×2灯	
	名田島小学校	10kW		坂東公園 (外灯)	43W×1灯	
	大内中学校	10kW		木戸公園 (外灯)	43W×2灯	
	潟上中学校	10kW		花園公園 (外灯)	43W×1灯	
	島地温泉ふれあいセンター	5kW		稲葉北公園 (外灯)	43W×1灯	
	山口情報芸術センター (外灯)	13W×14基、18W×3基		陶中央公園 (外灯)	43W×2灯	
	小郡図書館	10kW		緑公園 (外灯)	23W×1灯	
	不燃物中間処理センター	28.4kW		下市公園 (外灯)	23W×1灯	
	徳地総合支所 (外灯)	43W×1灯		東山公園 (外灯)	23W×1灯	
	中園町市営アパート (外灯)	171W×9基、9.7W×23基		風力発電	井関小学校	300W×2基
	矢原市営アパートA棟、B棟 (外灯)	171W×23基		一般廃棄物発電	清掃工場	1,900kW
	錦町市営アパートA棟、B棟 (外灯)	171W×8基	一般廃棄物焼却熱	清掃工場		
	三和町第5市営アパートA棟 (外灯)	171W×4基	バイオマス燃料製造	小郡農食用油リサイクルプラント	100ℓ/回 精製	
	三和町第6市営アパートB棟 (外灯)	171W×2基	バイオマス熱利用	阿知須総合支所 (木質ペレットボイラー)	空調 (冷暖房)	
	河原谷公園 (時計)	3.6W 蓄電池容量 1Ah		徳地総合支所 (木質ペレットストーブ)	1台	
	上東第2公園 (時計)	0.45W 蓄電池容量 1.2Ah		阿東総合支所 (木質ペレットストーブ)	1台	
	上矢原第1公園 (時計)	22W 蓄電池容量 40Ah		阿東地域交流センター (木質ペレットストーブ)	1台	
	上矢原第2公園 (時計)	0.45W 蓄電池容量 1.2Ah		→ 交流センター移転時に山村開発センターへ		
	桜島公園	22W×3基 蓄電池容量 40Ah		阿東地域交流センター篠生分館 (木質ペレットストーブ)	1台	
	平成公園	40W×8基 蓄電池容量 42Ah		阿東地域交流センター地福分館 (木質ペレットストーブ)	1台	
	河原公園 (外灯)	23W×1灯		→ 交流センターから隣接の「といと」へ		
	折本公園 (外灯)	23W×1灯		阿東老人ホーム (木質ペレットストーブ)	1台	
	氷上公園 (外灯)	23W×1灯		徳佐小学校 (木質ペレットボイラー)	床暖房	
	古曽児童公園 (外灯)	23W×1灯	徳佐小学校 (木質ペレットストーブ)	15台		
	稲葉児童公園 (外灯)	23W×1灯	阿東図書館 (木質ペレットボイラー)	1台		
	茅野神田児童公園 (外灯)	23W×1灯				
	大塚公園 (外灯)	23W×1灯				
	小鯖1011公園 (外灯)	23W×1灯				
	大芝公園 (外灯)	23W×1灯				
	赤坂公園 (外灯)	43W×1灯				
	坂東児童公園 (外灯)	43W×1灯				
亀山公園 (外灯)	43W×1灯、23W×1灯					
香山公園 (時計、外灯)	43W×4灯、23W×1灯					



《阿東図書館》



《嘉川地域交流センター》

主要施策

(3) 環境負荷の少ないライフスタイルの推進

(家庭や学校における温室効果ガスの排出抑制)

具体的な施策・事業 (担当課)

キ 省エネナビ等を活用した理解促進 (環境政策課)

各家庭での電気の無駄な使用をなくし、省エネ活動の促進を図るため、電気使用量を二酸化炭素排出量などに換算し、省エネ達成度を表示する機器「省エネナビ」の貸し出しを行い、モニターを募集しました。

- ・モニター期間 平成25年7月～平成25年12月
- ・募集対象者 市内在住の方で、自宅の分電盤に計測器を設置できる方
- ・募集者数：5人 (1世帯につき1台)
- ・モニターの活動内容 データの測定、測定データ、環境家計簿及びアンケートの提出

項目 \ 年度	H23	H24	H25
省エネナビモニター人数 (人)	14	15	5

ク 環境家計簿の取組みの推進 (環境政策課) **重点プロジェクト**

エネルギー消費を二酸化炭素排出量に換算して計算することで、日常生活でどの程度の負荷を地球環境に与えているのかを知ることができる「環境家計簿」をイベントの際に温暖化とめるっちゃネットワークやまぐちと協働して配布しました。

また、平成22年度にエクセル版の環境家計簿を作成し、ホームページに掲載しました。

項目 \ 年度	H23	H24	H25
イベントを通じた配布数 (部)	3,500	3,500	3,500

ケ 家庭向け新エネルギーの普及促進 (環境政策課) **重点プロジェクト**

住宅用太陽光発電設置費補助金の交付や申請状況、その他新エネルギーに関する情報提供を行いました。

項目 \ 年度	H23	H24	H25
補助金申請件数 (件)	494	331	471
補助金交付額 (千円)	18,152	12,287	17,789



コ 家庭における節電への取組みの推進（環境政策課）

市民の節電・省エネへの取組みを応援し、市域の温室効果ガス排出量の削減を図ることを目的として、「我が家の省エネ・節電コンテスト～こどもリーダー編～」を実施しました。

《「節電コンテスト」実施状況》

項目 \ 年度	平成25年度
期 間	平成25年12月～平成26年2月
目 標 値	前年同月比5%削減
応募者数	8 件
達成者数	8 件

サ 建物緑化による省エネの推進（環境政策課）

「緑のカーテン」は、ゴーヤやアサガオなどのつる性の植物をネットなどに這わせ、窓から入り込む夏の強い日差しを遮り、植物の葉の蒸散作用により涼しい風が流れ込みます。ついては、室温の上昇を抑えることができ、エアコンの使用を減らすことに繋がり、地球温暖化防止に有効であります。

緑のカーテンを多くの公共施設に設置しました。また、市報で募集した希望者137名の方にゴーヤの苗、68名の方に自然薯の苗を配布するとともに、取組みの輪が広がるよう、家庭、事業者、学校を対象とした「緑のカーテンコンテスト」を開催しました。今後も引き続き、緑のカーテンを公共施設に積極的に設置するとともに、市民及び事業者向けに啓発及び促進していくこととしています。

《緑のカーテンの設置状況（公共施設）》

項目 \ 年度	H23	H24	H25
設置件数	107	104	110

《「緑のカーテンコンテスト」開催状況》

【申込数】 家庭部門：26点 / 事業所部門：11点 / 学校部門：13点

最優秀賞 各部門1点 / 優秀賞 各部門2点 / 特別賞 家庭部門1点、事業所部門1点



《家庭部門最優秀賞》

主要施策

(4) 環境負荷の少ない自動車の利用促進
(移動における温室効果ガスの排出抑制)

具体的な施策・事業 (担当課)

シ 環境負荷の少ない運転技術の普及啓発 (環境政策課) **重点プロジェクト**

地球温暖化の原因である温室効果ガスの排出量削減を目指すため、環境負荷の低減に配慮した低燃費運転方法を体験・修得するとともに、受講者がそれぞれの家庭・職場・地域において普及啓発を図ることを目的として実施しました。

エコドライブを実践することで、平均20%の燃料削減(山口県トラック協会調べ)が実現できることから、JAF(日本自動車連盟)との共催で次のとおり実施しました。

項目 \ 年度	H23	H24	H25
講習会開催数(回)	3	2	2
参加人数(人)	51	26	21



ス 廃食用油の利活用 (資源循環推進課) **重点プロジェクト**

平成16年12月から、家庭から使用済み天ぷら油を回収して、軽油の代替燃料(バイオディーゼル燃料)を精製し、ごみ収集車等に使用しています。

バイオディーゼル燃料(BDF)の使用は、二酸化炭素の排出量の削減、排気ガス中の黒煙が3分の1に減少、硫黄酸化物がほとんど発生しないなどの利点があります。

現在、BDFの用途が限られ、精製量が減少傾向にあることから、用途の拡大が必要となっています。

項目 \ 年度	H23	H24	H25
精製量(ℓ)	7,192	7,362	6,559



セ 低公害車等の率先導入 (環境政策課)

「山口市地球温暖化防止行動計画」に基づき、公用車の買い替えの際には低公害車を購入することとしています。

また、電気自動車やハイブリッド自動車を優先的に使用することにより、ガソリン使用量の削減に努めています。

平成26年度に道の駅「きららあじす」へ電気自動車用急速充電器の設置を予定しており、それに係る設計業務を実施しました。

項目 \ 年度	H23	H24	H25
低公害車購入率(%)	100	100	100



主要施策

(5) 自動車利用の抑制

具体的な施策・事業（担当課）

ソ コミュニティ交通の確保（交通政策課）

地域の主体的な取組みにより、地域に合った公共交通の運行促進を図るため、コミュニティバスの運行や、地域組織主体によるコミュニティタクシーの運行支援、一般タクシーの共同利用（グループタクシー）におけるタクシー利用券の交付を行いました。

項目 \ 年度	H 2 3	H 2 4	H 2 5
コミュニティバス利用者数（人）	1 6 6, 4 8 1	1 4 6, 3 4 3	1 4 0, 7 2 6
コミュニティタクシー利用者数（人）	3 3, 0 3 3	3 4, 5 3 1	3 5, 9 4 0
グループタクシー利用申請者数（人）	4 7 0	7 0 4	8 5 2
グループタクシー延べ利用者数（人）	3, 9 3 8	6, 5 5 8	8, 7 7 1



タ 公共交通を支える意識づくり（交通政策課）

市民公共交通週間、市内一斉ノーマイカーデーを設定し、また、公共交通週間中にイベントを開催することで、公共交通利用の積極的な意識付けをする機会の充実を図りました。

また、平成25年1月から毎月第3金曜日を「山口市ノーマイカーデー」として設定し、ノーマイカー通勤の習慣化に取り組んでいます。

項目 \ 年度	H 2 3	H 2 4	H 2 5
市内一斉ノーマイカーデー参加事業所数	2 0 5	2 2 2	2 0 8
市内一斉ノーマイカーデー参加人数	3, 6 1 5	2, 7 8 3	2, 5 7 0
イベント参加者数	3, 0 0 0	4, 0 0 0	1, 5 0 0
山口市ノーマイカーデー登録事業所数	—	3 9	4 5
山口市ノーマイカーデー登録人数	—	6, 6 2 6	5, 5 2 8

主要施策

(6) 森林資源の有効利用の促進

具体的な施策・事業 (担当課)

チ 市有林の適正管理 (農林政策課)

本市は、市域の75%以上が森林で占めており、市街地には公園や街路樹といった緑地が存在するなど緑豊かな都市となっています。

森林には水害や地滑りを防ぐ防災機能や、二酸化炭素の吸収源としての地球温暖化防止機能、水源かん養機能などの多面的機能があります。こうした森林の持つ公益的機能を持続的に発揮させ、地域林業の振興に寄与するために、山口市森林・林業ビジョンに基づき、市有林の適正な維持管理を行うとともに、造林・保育事業を実施しています。

市有林保育事業

事業内容	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5
下刈 (ha)	127.81	134.69	116.74	103.47	109.39
間伐 (ha)	151.18	62.25	65.19	92.51	107.29
枝打ち (ha)	5.50	17.87	8.33	83.04	29.48
除伐 (ha)	11.09	1.17	5.67	1.17	4.9
造林 (ha)	14.27	3.55	9.04	25.46	8.93

基本施策② 地球環境問題への対応

◆ 進行管理指標

指標	単位	現 状 (計画策定時)		平成24年度 実績値		平成25年度 実績値		評価	目 標			
		年度	数値	年度	数値	年度	数値		中間年度		最終年度	
									年度	数値	年度	数値
コミュニティ交通の年間延べ利用者数（コミュニティバス）【再掲】	人	H19	166,625	H24	146,343	H25	140,726	↓	H24	173,000	H29	180,000
エコドライブ講習会の受講者数（累計）【再掲】	人	H19	—	H24	26 (204)	H25	21 (225)	↓	H24	180	H29	405

【評価（数値目標の達成状況等）】

「コミュニティ交通年間延べ利用者数（コミュニティバス）」については、昨年度と比較すると減少しています。今後は、減少の要因を調査分析し、コミュニティバスを必要とする人にとって利用しやすく、また、乗りやすいよう努めます。また、高齢者や子育て家庭が安心して外出できるよう鉄道や路線バスとの乗継ぎの利便性を高め、待ち時間等の負担軽減に努めます。

【主な取組状況（平成25年度）】

主要施策	(1) 酸性雨対策の推進
具体的な施策・事業（担当課）	
ア 酸性雨の監視、情報収集・提供（環境衛生課） 資料編P66に掲載（平成25年度の酸性雨調査結果）	
イ 低公害車等の率先導入（環境政策課） 【再掲】P23に掲載	
ウ 公共交通を支える意識づくり（交通政策課） 【再掲】P24に掲載	